

つながり

1 貧困 貧困をなくそう	9 産業・技術 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 まちづくり 住み続けられるまちづくりを	12 生産・消費 つくる責任 つかう責任	17 パートナースHIP パートナーシップで目標を達成しよう
-----------------	----------------------------	---------------------------	-------------------------	-----------------------------------

人と人がやさしさでつながり、助け合える「まち、暮らし」

- ① 助け合える「仕組み」や「機会」を地域社会と共につくる
- ② さまざまな資源をつなぐ
- ③ 暮らしのインフラとしての役割を担う

地域との対話の出発点 「地域つながるミーティング」を すすめています



地域でできることについての話し合い(コープ箕面中央)

2022年2月からスタートした「地域つながるミーティング」は、総代や地域コープ委員会、サークル活動を行う組合員だけでなく、行政や社会福祉協議会、NPOなどの団体、地域で活動する個人やグループが参加し、対話を通じて人や組織がつながる場です。そしてこの場で出会った人や組織が地域の課題について話し合い、各々の特徴や強みを生かし、課題解決につなげています。2022年度は、のべ3000人を超える皆さんがより良い地域づくりをめざし、話し合いを重ねました。



地域連携の取り組みが広がっています

丹波篠山市社会福祉協議会との買い物困難者等への支援協定を受け、地域の団体や企業、学校、地域コープ委員会が連携し、SDGsをテーマに「つながろうフェスタ」を開催。800人を超える方が来場され、持続可能な社会のあり方や地域のつながりの大切さを感じました。



フェスタの受付を担当する地域コープ委員会の皆さん

コープ大久保では「地域つながるミーティング」での対話をきっかけに、地域の活動者や民生委員・児童委員、社会福祉協議会、組合員などが集まり、「レトロ」をキーワードにしたイベント「昭和DAY」を開催。のべ400人以上の方が来場され、世代を超えてつながりました。



イベント開催のあいさつのようす

誰もが先生、誰もが生徒 地域とつくる学びの場が始まりました

協同購入センター姫路の福崎町移設に伴い、福崎町社会福祉協議会と連携し、地域に開かれたつどい場「まちの学校」がスタートしました。

ここでは、「誰もが先生、誰もが生徒」をコンセプトに、地域の人誰でも「教室」を開講・受講できます。楽器演奏、ヨガなどの運動、英会話、高校生によるコーヒーの焙煎、地元出身のアナウンサーによる話し方教室など、現在30講座に約300人が登録しています。子ども食堂も始まりました。



「まちの学校」の開設を横断幕でお知らせ

ワカモノ応援サイトを通じて 学生の活動を応援しています

ワカモノ応援サイト「Konoyubi.(コノユビ)」では、地域での学習支援や清掃活動などのボランティア、学生が企画した活動への参加を呼びかけています。各地区とつながりのある学生たちがサイトを通して組合員活動や地域の活動に参加する機会が増えています。



高校生がスマホの使い方をアドバイス

世代を超えてつながる 出会いの場をめざします

コープ甲東園(西宮市)のリニューアルオープン後、地域の方々が新たに出会い、交流できるつどい場づくりに向けて1年間、協議を行いました。大学生や地域の活動者、子育て中の方のグループなど14の団体がそれぞれの思いを伝え、これまで交流がなかった団体同士がつながるイベントも実施し、2023年4月につどい場をオープン。名称は「CO=コープ、コミュニティ(地域)」「KO=甲東園」の意味を含め、「コープのつどい場『CO・KO(ここ)』」に決まりました。



「CO・KO(ここ)」、オープン当日のようす

「たすけタッチ」による つながりが広がっています

ちょっとした助けが欲しい人と助けたい人をスマホのアプリでつなぐ取り組み「たすけタッチ」。これまでにのべ約1260回、ゴミ出しなどを住民同士で助け合ってきました。神戸市垂水区乙木小学校区ですすめてきたこの取り組みは、東灘区や西区でも運用を始めています。

つながりづくりをすすめ、いざというときにもお互いを思いやり、声を掛け合う地域づくりをめざしていきます。



「たすけタッチ」を通じてゴミ出しをお手伝い

高校生たちが特技を生かして地域に貢献しています

コープ神吉で兵庫県立東播工業高校(加古川市)の生徒が教える「スマホ教室」と「子ども工作教室」を開催しました。「スマホ教室」は行列ができるほどの人気ぶりで「学生が優しく教えてくれるのでうれしい」と好評でした。

「子ども工作教室」には4歳児から小学生までが参加。電気科の学生たちと一緒にオルゴールボックスを作りました。「作るの簡単だけど、教えるとなると難しい」と講師役の高校生にとっても良い経験となりました。



オルゴールボックスと一緒に作る小学生と高校生

高校生たちと地域の課題を学んでいます

兵庫県立伊川谷高校(神戸市西区)と「教育提携に関する協定」を締結しました。高等教育の活性化と高校生の学習機会の拡充を図るとともに、地域の活性化を推進し、地域に貢献することをめざします。

地区本部や店舗の職員が参加し、SDGsや地域連携などの課題について高校生たちと学び合いました。



地域課題について高校生にアドバイスする職員

行政や諸団体との連携をすすめました

地区本部が中心となり、行政や地域の諸団体と連携した地域づくりや課題解決の取り組みを行っています。

2022年度は高砂市や播磨町、各地の社会福祉協議会(豊岡市・西宮市・神戸市)とも協定を結びました。



播磨町と協定締結



西宮市社会福祉協議会と協定締結

交流や情報発信の場を地域に増やしています

宝塚市に、子育て世代からシニア世代まで、地域の方が誰でも立ち寄れる「まちのつどいば『ここおる』」がオープンしました。赤ちゃん連れの方が安心してくつろげるスペースも備えています。

地域とつながるさまざまなイベントの会場や「地域めーむひろば」の拠点としても利用され、宅配商品の受け渡しなどをきっかけに新たな対話も生まれています。



新しくオープンした「ここおる」で宅配商品の受け渡しを開始

高齢者の買い物と障がい者の社会参加を応援しています

豊岡市社会福祉協議会と「買い物困難者等への支援に関する協定」を締結し、豊岡市内の福祉事業所に通う利用者らが、地域の高齢者にコープこうべの宅配商品を届けるサービスがスタートしました。障がい者の社会参加を応援するとともに高齢者の買い物を支援。また、見守りサービスにより安心を届けています。



豊岡市社会福祉協議会と協働でサービスを開始

音楽を通して人のつながりを感じました

「第41回全国豊かな海づくり大会」の協賛イベントとして、兵庫県立舞子公園特設会場で「うみかぜ音楽祭 in Maiko」を開催しました。テーマは「海」。約3000人が来場し、大小2つのステージでは20組がパフォーマンスを披露しました。ステージ以外にも、お魚のタッチプール、座ったままできるヨガ、セラピードッグとの触れ合い、手作り品のバザーなど21のブースが出展し、多くの人でにぎわいました。



海をバックに日頃の活動を披露

多世代が交流し地域を元気にしています

相生市では、地域団体や地元の兵庫県立相生産業高校(相生市)の生徒と一緒に、まちの活性化を図る話し合いを重ねています。2023年2月には学生からシニアまで多世代が交流するファッションショーを開催。地域に元気を届けました。



ファッションショー「あ・い・コレ2023」に参加したモデルの皆さん(コープデイズ相生)

宅配や店舗で学び合いや交流の機会を増やしています

協同購入センターや店舗で、「おしごと体験」してもらったり、商品を伝える「レインボーひろば」「レインボースクール」を開催し、コープの魅力を伝えています。

地域の団体との合同開催も増えており、職員と組合員の交流や組合員の学び合いの場が広がっています。



宅配と店舗の職員が合同で行った「レインボーひろば」(コープデイズ神戸西)